

平成29年度の国土交通省の予算では、北海道横断自動車道の個別路線の事業化に向けて、ルートや構造の検討に関する調査を進める箇所として、尾幌・糸魚沢間が認められました。

厚岸町が構成団体として加入している『北海道横断自動車道釧路・根室間建設促進期成会』では、釧路町別保から根室市温根沼までの区間を整備要望してきました。

しかし、この区間が19^キと日本一長い要望区間であり、全線が一度に国に認められるのは困難であると判断しました。そのため、この区間を4区間に分けて、交通事故件数や自然災害による通行止め回数、津波浸水想定区間延長などのほか、沿線住民へのアンケート結果を基に検討された結果、平成28年2月に整備要望の優先区間が『尾幌・糸魚沢間』に決定しました。

この決定後、同期成会や関係する団体等において国への要望活動を行ってきたほか、厚岸町の関係団体のみで国への単独要望活動も行ってきたことが実を結んだもので、今後の展開に期待が寄せられています。



北海道横断自動車道の 個別路線の事業化に向けて

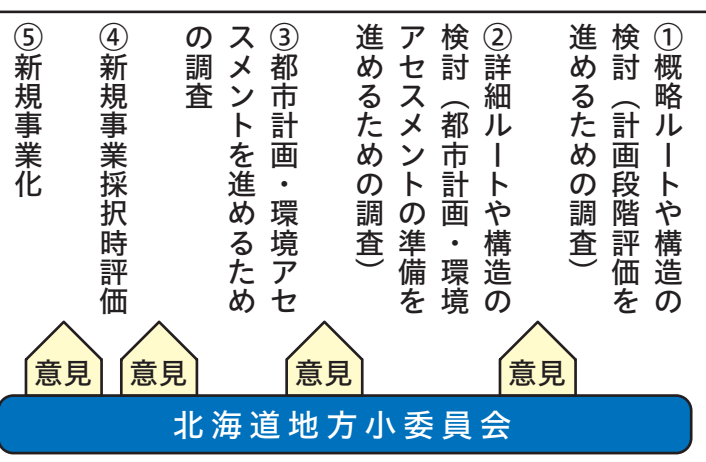
尾幌・糸魚沢間の事業化へ第一歩

尾幌・糸魚沢間の 高速道路整備に向けて

尾幌・糸魚沢間は、高速道路の事業化に向けた調査を行う区間として認められましたが、これは事業化に向けた第一歩に過ぎません。

事業化が決定するには、北海道開発局による調査・検討が行われ、国の第三者組織である国土交通省社会資本整備審議会の北海道地方小委員会への諮問を経て、必要性が認められなければなりません。

今後の主な手続きは、次に示すとおりです。



現在は①の段階であり、北海道開発局が概略ルートなどを複数案作成し、北海道地方小委員会に諮る『計画段階評価』に向けた調査などを行っています。新規事業化が決定されるまでは、計画段階評価に着手後、2年から3年を要するとされています。

高速道路の延伸で 期待される効果

白糠ICや阿寒ICが開通したことで、札幌方面との移動時間が短縮され、開通区間の周辺地域では産業や観光など、さまざまな分野で効果が表われています。さらに高速道路が延伸されることで、効果が及ぶ範囲が広がり、地域の活性化が期待されます。

●観光客など交流人口の増加

道内を観光する人の多くは、自動車で移動しています。白糠IC、阿寒IC開通後、周辺の観光施設の多くでは観光客が増加しています。

町内においても、厚岸味覚ターミナル・コンキリエの平成27年度の入館者数は前年度より12%増加し、平成28年度も好調を維持しました。また、平成28年度に町内で行われたイベントの来場者数を前年度と比較すると、あっけし桜・牡蠣まつりでは25%、あっけし牡蠣まつりでは18%

5%増加しました。観光客が多数訪れることで、観光業のほか関連産業への経済効果も期待されます。

●物流の効率化による経済活性化

道央圏と釧路地域が高速道路で直結したことや、混雑する釧路市内を迂回できる釧路外環状道路が開通したことで、農産物や水産物などの物流の効率化が図られています。生鮮品については、これまで以上に高鮮度・高品質の状態で道内の消費地である道央圏へ届けることができるようになりました。また、輸送効率が向上することで運送事業者や水産加工業者などの取り扱い量の増加、生鮮品の鮮度維持による付加価値・ブランド力の向上など、地域経済の活性化が期待されます。

●安全性の向上

高速道路は、走行の安全性確保による交通事故の減少のほか、救急車による患者輸送の速達性・確実性の向上、大規模地震や津波等の自然災害が発生した際の緊急輸送路や避難場所としての役割などが期待されます。

厚岸町を通る国道44号は、東日本大震災の大津波警報発令による浸水の恐れや、台風などの豪雨による冠水で、幾度となく数日間にも及ぶ通行止めとなりました。この影響は、魚

介類や生乳などの生鮮品などの物流のほか、日常生活や患者の救急搬送などに大きな支障を及ぼしました。また、北海道が示した津波浸水予測図では、国道44号の浸水が想定されており、その区間は尾幌から糸魚沢間で18・5^キにもなります。こうした自然災害で一般国道などが通行止めとなった際には、代替経路や緊急物資輸送路の確保など、高速道路が非常に大きな役割を果たします。

できるだけ市街地に近い 位置へのインターチェンジを

町では、さまざまな効果が期待される高速道路の整備要望を今後も継続していきます。

特に、尾幌・糸魚沢間の整備要望については『北海道横断自動車道釧路・根室間建設促進期成会』が中心となり、早期に計画段階評価に着手するよう、国土交通省などに対して今後要望活動を展開していきます。

また、インターチェンジについては、水産物などの物流や緊急時の患者輸送、町民の生活上の通行、観光客の町内への誘導などを考慮して、事業主体となる釧路開発建設部にできるだけ市街地に近い位置への設置を要望しており、今後も事業化に合わせ要望していきます。

●問い合わせ／企画調整係



白糠IC開通後、入館者数が好調な『厚岸味覚ターミナル・コンキリエ』。観光客の増加により、市街地への波及効果も期待されています。



昨年から札幌ナンバーの車が目立って増えた、春の『あっけし桜・牡蠣まつり』と秋の『牡蠣まつり』。観光業だけではなく、関連産業への効果も期待されています。(写真はあっけし桜・牡蠣まつり)